

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局		■担当係	総務係
■評価事業名称	農業委員会だより発行业			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	520100 - 009	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進		
	■施策	01 情報公開の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	農業委員会等に関する法律			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市民に農業情報を発信することで農業者には農業経営の改善、消費者には農業生産物の消費拡大を図り、地産地消運動を推進し農業情勢への理解を得る。きたかみ広報誌と併用発行[年4回A4版2ページ]農業委員会情報の提供誌			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	農業委員会だより発行业	市民	・市広報との併用(農業委員会情報誌) ・年4回(6月、9月、12月、3月) ・部数…全世帯	・市広報との併用(農業委員会情報誌) ・年4回(6月、9月、12月、3月) ・部数…全世帯

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費					
人件費	2,016	3,798	5,556	6,105	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,016	3,798	5,556	6,105	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	1枚当りコスト	55.7円	103.7円	150.2円	163.0円	フルコスト/年度末世帯数
	農業委員会だより発行回数	年4回	年4回	年4回	年4回	6月、9月、12月、3月の年4回発行し、農業委員会活動や農業政策情報等を市民に提供する。

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

広報との合冊により、農業者以外の市民にも農業委員会の活動を広く周知することができた。

問題点・課題等

リアルタイムでの情報発信が難しい。(3か月に1度の発行)紙面が限られているため、活動の紹介がメイン記事となり、毎年内容にあまり変化がない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

農業者に必要な情報を的確に伝えるとともに、消費者としての市民にも興味を持って見てもらえる情報を提供していく工夫をする。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了